

特定非営利活動法人わっか

2020 年度 年次報告書

2019
2020

だれもがまるごと
受けとめられる
社会をつくる



NPO wacca

Our vision

だれもが、まるごと受けとめられる社会をつくる

わっかは、だれもが、まるごと受けとめられる社会を目指して活動を行う団体です。

子どもを取り巻く環境について

子どもたちは思うがままにすごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。いまの子どもたちは、自分では変えることができない社会環境や大人の意識の変化により「思うがまま」に過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。大人の価値観による評価、他者との比較や数字で表せる結果で、子どもの存在を条件付きで認める場ばかりになり、さらには、地域社会においても、その子のまるごとを受けとめてくれる存在も少なくなっています。また、学校、学習塾、習い事、スポーツクラブで多忙な毎日を送り仲間も時間も空間もなくなりつつあります。

私たちは、まるごと受けとめられる場づくりをしたい、そんな思いで居場所づくり事業や出会いと学びを育む事業などを行っています。

事業一覧

1

居場所づくり事業

月ようわっか 日ようわっか 平日わっか . . . 5 ~ 8

さかっこクラブ（放課後児童クラブ） . . . 9 ~ 10

2

出会いと学びを育む事業

若者の生活／就労支援 . . . 11

講演会 視察 . . . 12 ~ 14

3

その他

クラウドファンディング 新年特別企画 . . . 16

学校一斉休校に伴う臨時の居場所づくりと宅配 . . 17

わっかへのご寄付 . . 18

わっかの目指す姿

だれもが、まるごと受け止められる社会を目指して、
居場所づくり活動を中心として活動しています。

日々、わっかに集う人たちとすごす、
なんでもない日常を何より大事にしています。

そんな中で、さまざまな声を聞くことがあります。

それは、その人の生きづらさの吐露であり、
私たちはその声に寄り添いたいと、願っています。

わっかの活動はすべて、
そんな小さな弱い、でも確かな声をきっかけに
立ち上げてきたものばかりです。

いま、出会うあなたへ、私たちができることをやり続ける。

それが、わっかです。

月ようわっか

毎週月よう日 15:30 ~ 20:00

開けた回数 来た人 ※()内の人数はご飯を食べた人の数（持ち帰りも含む）

41回 こども392人（275人） おとな94人（3人）



今年度は当初から新型コロナによる休校もあり、4月から5月にかけてはわっかの古民家開放を一旦休止する措置も取りました。前年度末までに参加する人数は圧倒的に少なくなりましたが、それでも、わっかが必要だと来てくれていた子ども若者は数名いました。そのため、休止期間中でも、他に行き場のない子ども若者（これまでになじみのある子達に限定して）にこっそり古民家を開けていました。

その後、古民家をこれまで通りの時間で開けるようにしましたが、参加する人数は増えず、1回に10人程度になりました。来なくなった子どもの中には「親に止められてる」「親に行くなと言われる」と言う子もいました。そういった後ろ向き意見もある中で、今は、中学生以上の子ども若者がよく訪れるようになりました。人数が少ない分、じっくり、ゆっくりと話したり、過ごしたりできるようになっています。状況は大きく変化しましたが、誰かの居場所になっていることには変わりないと感じる1年となりました。（文責：柳生のび）

日ようわっか

ときどき日曜日 10:00 ~ 15:00

開けた回数 来た人

9回 こども119人 おとな64人



日曜日に集う方は、昨年とほとんど同じく1回あたり約20人でした。コロナ感染対策や熱中症対策で開催できないことや、再開後の6、7月は来る人が減った時もありました。しかしながら、年末からこれまでの常連だった親子が毎回来るようになったり、保育園の同級生だった子たちが集ったり、また他の曜日によく来ていた子どもたちも来はじめ、年間通しては昨年度と、ほぼ同じ人数になりました。

そして今年度からは、来てくださっている方の「もっと開けて欲しい」の声に応え毎月第2、4日曜日と固定して開催しています。これまでは、開けられる日の開催だったのですが、「第2、4はわっかが開いている」と覚えてもらえたら嬉しいです。（文責：だいのすけ）

平日わっか

火～木よう日 13:00 ～ 17:00
金よう日 13:00 ～ 20:00

開けた回数 来た人

152回 こども266人 おとな69人



コロナ禍で、古民家を開けられない日がありました。そのとき、これまでの活動で出会っている方や子どもにはできることをできましたが、出会っていない方には何もできないことを感じさせられました。

そこで、5月末から、平日古民家をあけました。当初は学校にいかない選択をしている子や、昼間に自宅にいる大人が集ったりしていましたが、3月から月曜日に常連だった子が友達を連れて、平日に来るようになっており、1回あたりの人数も、これまでより増えました。学校終わりの16:30ぐらいに来て1時間くらい遊んで帰る、そんな場所になっています。（文責：だいのすけ）

月ようわっか・日ようわっか・平日わっか（WAM 助成を活用）

印刷製本費（チラシ印刷、年次報告書）	63,556円
通信費（ネット利用料）	71,353円
原材料費（こども食堂）	237,392円
光熱水費（古民家わっか）	132,162円
家賃（古民家わっか）	360,000円
手数料（ネット工事費、振込手数料）	47,628円
合 計	912,091円



さかっこクラブ

放課後児童クラブ

登録人数

スタッフ

日数

年間 **34** 人 長期 **62** 人 合計 **96** 人

9 人 (長期 **12** 人) **297** 日



さかっこクラブ（米原市からの委託料を活用）

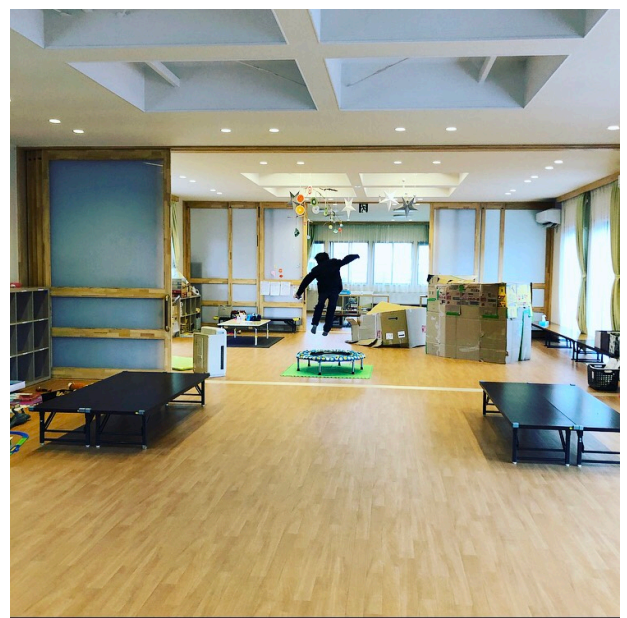
給料手当（正社員3名、パート職員6名、短期パート職員数名）	14,912,628円
法定福利費（正社員3名）	1,087,948円
通勤費（正社員3名）	234,300円
謝金（子供向け企画講師代）	40,000円
印刷製本費（コピー代）	2,430円
交際費（打合せ費用）	38,116円
交通費（スタッフ研修用）	27,530円
通信費（携帯利用料2台分）	94,320円
消耗品費（原材料費、医療費、施設備品、清掃用具、子供用玩具、プリンターインク、新型コロナウイルス感染症対策用品など）	736,719円
光熱水費（専用施設管理費）	333,586円
租税公課（印紙代）	450円
支払手数料（振込手数料、メーリングシステム使用料）	227,414円
広告宣伝費（スタッフ求人）	24,200円
合 計	17,759,641円

昨年度末に、設計から関わったクラブ専用施設が建設され、さかっこクラブは大型のクラブとしての新しい年を迎えることとなりました。施設のコンセプトは「アットホーム」、子ども達が帰ってきたときに思わず「ただいま」と言いたくなる家のような落ち着いた空間にしたいと考えたからです。

だからこそ、保育の内容もより個別的にそれぞれのペースで過ごすことを大事にできるようにし、過ごし方も様々にできるようにしました。つまり、決まった時間にやることが決められておらず、ほとんどが自由に選択しながら過ごせるようになっています。子ども達のことを考え抜いた結果のやり方です。

その結果はどうだったのか。さかっこでは子どもと保護者向けにアンケートを年度末に実施し、満足度を確認させていただきました。結果は上々、満足度90%以上という結果となりました。次年度は、人数が更に増えるという中で、いかにして満足度を維持するかが課題となります。

(文責：柳生のび)



若者との関わり

関わった人 8人

若者との関わり（クラウドファンディング寄付を活用）

給料手当（クラファン企画事務局）	50,000円
印刷製本費（若者との関わり報告書）	7,326円
交際費（若者とおでかけ）	23,776円
通信費（郵便、携帯利用料）	21,993円
消耗品費（衣類）	27,172円
光熱水費（シェルターハウス）	63,242円
家賃（シェルターハウス）	240,000円
交通費（若者用）	4,500円
合 計	438,009円

昨年度より仕事の業務内容がハードすぎる事と、賃金が見合っていない事から転職の相談を受けていた A さん。昨年度内に何社かの求人を紹介しており、その内の一社に応募したところ見事就職が決まり、5月 GW 明けから勤務されています。転職後も定期的に近況確認の連絡を取り合っていました。

数年前から一人暮らしの B さんの生活を支えています。自分のステップアップのためにしばらく続いていたアルバイトを辞め、4月に転職を試みるも、コロナ禍による影響でなかなか再就職につながらず、無職の状態が続いています。メディアのコロナ情報過多に煽られてしまい、対面拒否のような精神状態になることもしばしありました。出会った当初から定期的に古民家で一緒に食卓を囲んでいましたが、それもままならない状況であったので、お弁当やお惣菜を作って届けました。昼夜逆転しやすいので昼間に外へ連れ出して出かけたりもしました。今年に入ってから情報は煽られるような事はなく、落ち着いてきたので古民家で食卓を囲めるようになりました。

母親からの DV から逃げて家出をした学生の C さん。コロナ禍により大学からアルバイト禁止令が出たため、生活費を稼ぐ事ができなくなってしまったので、クラウドファンディングで C さんの家賃や食費などの寄付を募りました。その結果、今年度1年分の家賃、生活費を賄える金額を集めることができました。現在は学業に励まれています。今までの育歴から行動に不安定さがあり、引き続き生活面と行動歴のサポートが必要です。（文責：あおきあすか）

第4回居場所づくりサミット

参加者 38人



はじめてのオンラインでしたが、一昨年、昨年とほぼ同じ人数の参加があり、東京など遠方の方もご覧いただきました。

サミットは居場所づくりをしている人、これから始めようと思っている人、関心のある人たち、同じ思いで活動している人どうしで交流することを目的で毎年行っています。

オンラインによって、これまで参加できなかった遠方の方が参加できたことは、つながり作りを新たな形で、できたと感じています。(文責: だいのすけ)

居場所づくりサミット (米原市協働事業を活用)

報償費 (講師3名謝礼、文字起こしバイト3名)	135,000円
委託費 (チラシ作成)	50,000円
需用費 (チラシ印刷)	5,126円
手数料 (振り込み手数料)	2,640円
合 計	200,906円



居場所づくりリーダー養成講座

参加者 8 人（米原市内 3 人）



3回の連続講座を通じて、米原市内で居場所づくりをはじめる人が出てくることを目的に、米原市との協働事業として行いました。

米原市内から3人の方の参加があり、そのうち2名の方とは、講座後も活動開始にむけて継続的に相談を受けています。

また、滋賀県内1名の方とも、活動に関しての相談を受け、資金確保の方法などを助言しています。

養成講座だけで終わるのではなく、その後の立ち上げや運営サポートも継続的にこなっていきます。（文責：だいのすけ）

居場所づくりリーダー養成講座（米原市協働事業を活用）

報償費（講師2名謝礼）	150,000円
委託費（チラシ作成）	50,000円
需用費（チラシ印刷）	7,460円
手数料（振り込み手数料）	1,100円
合 計	208,560円



講演・視察

回数 7 回



9月： 岐阜大学より13名

11月： 広島から1名

滋賀県竜王町役場（2名）

長浜市社会福祉協議会（4名）

2月： NPOぽぽハウス（4名）

オンラインで2団体

昨年度と同数の視察を受け入れました。コロナ禍のためお断りしたり、視察ができなかった方もいらっしゃいました。しかし、オンラインで活動について聞いてくださった方も県外で2団体おり、わたしたちの活動が、県内だけでなく、居場所づくりをはじめの人たちの参考になっています。近隣の長浜市や彦根市の団体の視察があったこと、社会福祉協議会さまは、若者の関わりについて聞いてくださり、制度ではサポートできない方へどのようにアプローチできるのか参考にされていました。（文責：だいのすけ）



2020年度に実施しなかった事業

寺子屋わっか

水曜日の 18:30～20:00 まで古民家で勉強をしたいという子どもたちの声に応えて行っていました。2019 年度は 43 回行い、のべ 160 人の方が来てくれました。こちらは寺子屋という形では行っていないが、古民家わっかを開けているときに勉強をみることは継続しています。コロナ禍で子どもたちの人数が減ったので、通常の開いているときに勉強をみることであります。

wacafe

金曜日の 10:00～13:00 と古民家を開放して、ゆっくりとした空気の中で、用事と用事のための暇つぶしであったり、仕事の気晴らしにと来る人がのんびりと過ごす場として、2019 年度は 32 回で、のべ 57 人の方が来ていました。今年度は、金曜日の 13:00～20:00 まで、平日わっかを開催するようになったので、こちらは行いませんでした。しかしながら、個別にご飯を食べることは継続しています。

のっばらわっか（冒険遊び場）

日曜日の 10:00～夕方まで野天の下、広い野原で子どもたちが好き好きに過ごす場を設けていました。2019 年度は 6 回で、のべ 51 人がきていました。今年度は、それ以前からも夏場の猛暑により日陰がほとんどない環境のため夏場に開催ができなかったこと、また開催場所が使えなくなることもあり、本事業の見直しを決めました。

子どもの夢中全力サポート事業

金曜日の 17:30～20:00 まで行い、小学生のべ 4 名、中学生のべ 3 名がきて、子どもたちの、したいことや夢を、大人たちができる限りサポートしました。今年度は、金曜日に古民家を開放する中で、継続して小学生たちのしたいことを応援しています。この事業をわっかの古民家開放事業で、同時に、できる範囲で行い継続して関わっています。

クラウドファンディング

ご寄付者

91人

ご寄付金額

717,000円



ご寄付とともに、寄付者から温かい言葉をいただきました。それは、若者たちに独りではなく、身近に思っている人がいるということを伝えることになったと思っています。その後、わかかの月次報告書を送り、活動をより知ってくださった方3名がマンスリーサポーターとして支えてくださっています。イベントとしてではない、活動を知って応援していただくという関係が築けています。（文責：だいのすけ）

新年特別企画

12月31日 15:00 ~ 1月1日 12:00

来た人 こども4人 おとな1人



新年特別企画

（平和堂 こども食堂応援企画を活用）

原材料費（こども食堂）	9,904円
消耗品費（お正月飾りなど）	9,904円
合 計	19,808円

年末年始に落ち着ける居場所がない方々のために、大晦日から元旦にかけて古民家開放を行いました。家庭に居場所のない中学生、娘と二人暮らしのお父さん、実家への帰省に足が向かなかった学生などがやって来て、大晦日に年越しそばを食べ、年明けて元旦にはお雑煮と簡単なお節をみんなでつまみました。（中学生は大晦日の深夜までに帰宅しました）保護者から外出を止められた子達（積雪の危険性を理由に）からは電話やLINEで連絡があり、自由に外出できないしんどさや窮屈さを吐き出してくれました。今年度初の試みであったため、普段からわかかに来てくれている方々ばかりでしたが、今後も続けていくことで、駅前という立地を生かし広域の方の居場所になる可能性は高いと感じます。（文責：あおきあすか）

学校一斉休校に伴う臨時の居場所づくりと宅配

古民家開放およびシェルターの居場所づくり **13回、26人**

これまで、わっかの活動を通じて出会って関係を繋いできた子ども・若者に限定して、わっかが開いていることを連絡し、集団規模を小さくして開催しました。

学校一斉休校中の毎週月・水・金

家にいることがリスクになり得る子どもや、居場所のない若者が、古民家でスタッフとともにゆっくりとすごしました。

学校一斉休校中の毎週火・木

緊急性や必要性の高い子ども・若者に食事を提供したり相談を受けました。

お弁当配達・見守り **182回、2人**

自宅で一人、もしくは友達と一緒に、子どもだけのごす家庭へ平日5日間、お弁当を宅配しました。宅配と同時に保護者へ安否確認のメッセージをし、保護者が安心して就労できるサポートをしました。また、バイトができなくなり収入が途絶えた大学生や若者にも、お弁当を毎日届けました。（文責：だいのすけ）

お弁当配達（むすびえ・子ども食堂基金を活用）

給料手当（スタッフ人件費）	272,300円
消耗品費（弁当材料代、パック、割り箸等）	223,366円
交通費（スタッフ移動用）	8,000円
合 計	503,666円

情報発信（フォロワー）

子ども、若者、古民家で集う人たちとのなんでもない日々を SNS で発信しています。発信を通じて、古民家にきてくれる人、活動を応援してくださる方がいます。（2021 年 5 月 28 日現在）

facebook

996人



Twitter

160人

（フォロワー149人）



Instagram

81人

（フォロワー18人）



Youtube

65人



わっかへのご寄付

わっかは、NPO 法人化とともに活動資金を寄付で賄うことを目指して、寄付での活動資金確保にむけて動いてきました。みなさまのおかげで、古民家開放にかかる事業費の約〇%を寄付で確保できるまでになりました。ただ、足りない分は補助金・助成金によって補填している状況です。古民家をあげ、そこでの日々を発信していきます。

正会員	賛助会員	マンスリーサポーター	都度寄付
14人	5人	27人（昨年度14人）	12人

総金額 1,316,072円

支えてくださった企業・団体（敬称略）

米原市 	独立行政法人 福祉医療機構 	リタワークス株式会社 
真如苑 	社会福祉法人 米原市社会福祉協議会 	公益財団法人 信頼資本財団 
一般社団法人 全国食支援活動協力会 	公益財団法人 さわやか福祉財団 	社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会 
NPO法人全国こども食支援センター・むすびえ 	紙eco 	タノシニア合同会社 
マコトヤ 	いっぱまえクラブ	



団体名 特定非営利活動法人 わっか

住所 〒521-0012 滋賀県米原市米原 178-5

電話 070-1803-1059（代表）

メール wacca235@gmail.com

ホームページ <https://npo-wacca.org>

Facebook  こどもと大人の居場所 わっか

Twitter  アカウント名 @NpoWacca

Youtube  アカウント名 振角大祐

Instagram  アカウント名 @wacca_asunoki

